

**グローバル目標15 陸上の生物の紹介**

時間: 約45分

年齢: 8～14歳

学習目標:

* 生物多様性が失われる原因となる問題について、子どもたちが特定できるようになります。
* 子どもたちがパーム油を使用することについての自身の意見を述べられるようになります。
* 子どもたちはグローバルゴール15「陸の豊かさも守ろう」について行動することについても考えることができるようになります。

学習ポイント:

持続可能性、森林伐採、生物多様性の喪失、環境悪化、生物種、パーム油

**ステップ1: 自然喪失の現在の動向（5分）**

子どもたちに自然が減少してきているグラフを見せましょう（クラスルームプレゼンテーションpptを参照） 少し時間をとり、グループやペアで画像が何を意味するのかについて話合わせましょう。 *どうしてこのようなことが起きるのか、またこのことによってどのような影響が考えられるのでしょうか。*

**ステップ2: 森林伐採のグローバル目標へのつながり（10分）**

地球上の生物多様性に関して今一番大きな問題となっているのは場所が足りなくなっていることだと子どもたちに説明しましょう。 *これらのイメージ写真からどんなことが起きていることが考えられますか？また、それはどうして起こるのだと考えられますか？* 森林伐採ということばについて説明しましょう。 森林伐採はグローバルゴール15「陸の豊かさも守ろう」の鍵となる課題です。 ゴール15は広い範囲の課題を含みますが、今回は子どもたちにジャングルについて学習することを伝えましょう。

**ステップ3: 討論: ヤシ油は禁止すべきか？ （20分）**

次にパーム油の写真を見せます。 *これがなんだか子どもたちは知っていますか？ パーム油について聞いたことがありますか？* パーム油はさまざまな食事の材料や日用品（シャンプーやコンディショナー）に使われていることを紹介します。 多くの人がこのパーム油が環境に良くないと信じていますが、環境をまもるために必要なものだと主張する人もいます。 子どもたちにパーム油は禁止されるべきかどうかについて意見を固めるように促します。 この段階では子どもたちが確信に至っていなくても構いません。このあと調べ学習をグループで進めていくことを伝えましょう。

次に２つのビデオを見せます。１つ目は[「パーム油はジャングルを救うのか？」](https://www.ourplanet.com/en/video/can-palm-oil-help-jungles/)、２つ目は[「アイスランドの主張」](https://www.youtube.com/watch?v=JdpspllWI2o&t=1s)です。 その後で子どもたちにペアで考えたことを話すように言いましょう。 パーム油は禁止されるべきでしょうか。

子どもたちにペアで向かい合ってたってもらい、パーム油賛成派と反対派で左右に別れてもらいます。 生徒を一人選び（または教師が代表して）生徒の列のうちのどこかに立たせます（立ちます。） ゆっくりをその列の間を通り、生徒の前を通りかかるたびにパーム油使用について賛成または反対である理由を一つ挙げてもらいます。

すべての生徒たちが意見を述べたら、自分の立場（賛成/ 反対）を変えたい人がいるか聞きます。

クラス全体に戻ります。*パーム油の使い方によって、どんな影響がグローバルゴール15「陸の豊かさも守ろう」に出てくると考えられますか？*

**発展学習：**高学年であれば賛成・反対の役割を予め決めてディベートするのもいいでしょう。 役割には農夫、学生、野生動物保護主義者、スーパーマーケット経営者、会社経営者、野生動物保護主義団体職員などを入れておくと良いでしょう。

**ステップ4: 行動とふりかえり（5分）**

ディベートが終わったら、授業のふりかえりに時間を取りましょう。 *今日学んだことの一つは何ですか？ もっと学びたいことは何ですか？ ヤシ油の使用とグローバル目標15についてどんな質問がありますか？ 生徒たちはどんな情報をもっと知りたがるでしょう？*